



# 警報装置

(AC100v仕様)

## 設置要領書 (2026年2月)



## はじめに

この度は、弊社の気象総合プラットフォーム  
ZEROSAI X-AIをご導入いただき、  
誠にありがとうございます。  
本書では、お客様に安全かつスムーズに  
警報装置の設置をいただくための  
要領・手順について記載しています。  
返却時の手順についても記載しておりますので、  
お手元に保管いただきますよう、  
よろしくお願いいたします。

## 目次

作業を行う前にお読みください	…3
設置イメージ・機器構成	…4
設置手順	…6～8
各機器を単管に取り付け	
ケーブルの接続	…9
電源の投入	…10



# 作業を行う前にお読みください

- 機器を設置する単管は十分な荷重に耐えるものを使用し、機器は確実に固定してください。土質の弱い場所に設置する場合には、単管が容易に動かないように設置してください。地震、振動、強風などにより転倒して事故やけがの原因となる場合があります。
- 機器には動く部分や鋭利な部分があります。動く部分に身体の一部を挟んだり、鋭利な部分でけがをしないように注意してください。
- メンテナンスを行う際は、感電や漏電の危険性もありますので、必ず電源を切って行ってください。
- レンタル機器の分解・改造・修理を自分で行わないでください。  
不具合が生じた場合は、まず弊社へのご連絡をお願いいたします。
- 本サービスの設置・利用によって、お客様及び第三者に生じた損害においては、当社の故意又は過失に起因する場合を除き、当社は責任を負わないものとします。

設置・撤去に関するお問い合わせは…

シスメット(株)技術部(093-965-1033)

※対応時間 平日 8:30-17:00

■メール

[info@sysmet.co.jp](mailto:info@sysmet.co.jp)

■web問い合わせ

<https://www.sysmet.jp/form/>



## 設置イメージ



## 機器構成



### 電光掲示板

現場に設置した機器の観測値・予測値・メッセージ等を表示します。設定した基準値を超過すると点滅して危険を知らせます。



### 赤色回転灯

設定した基準値を超過すると、光と音で報知します。

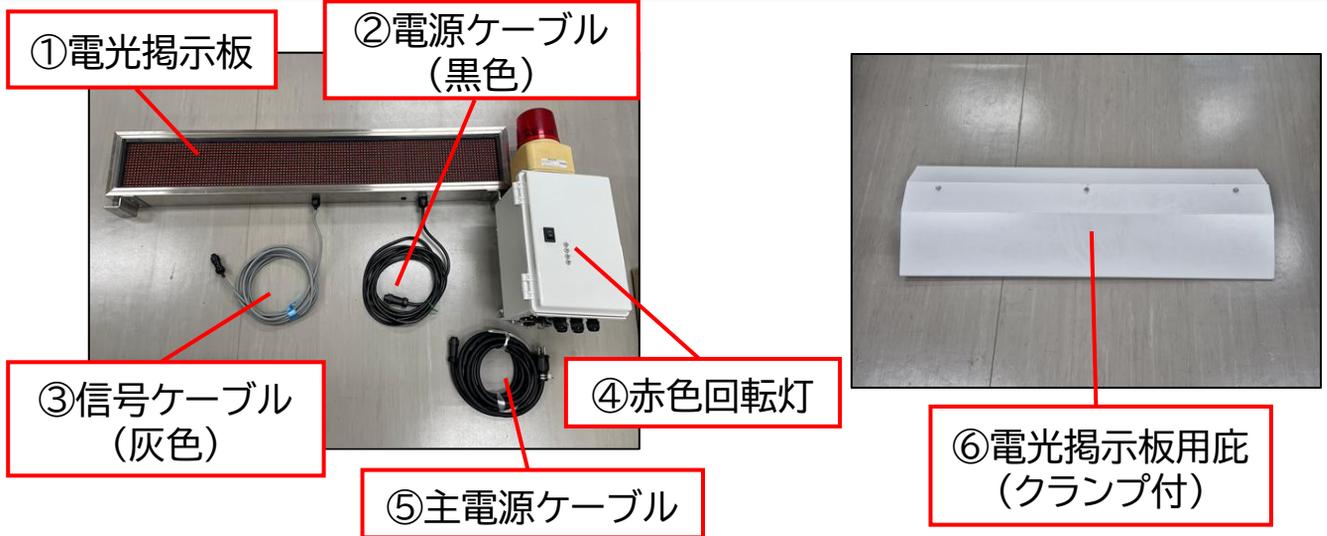


### 電光掲示板用庇(ひさし)

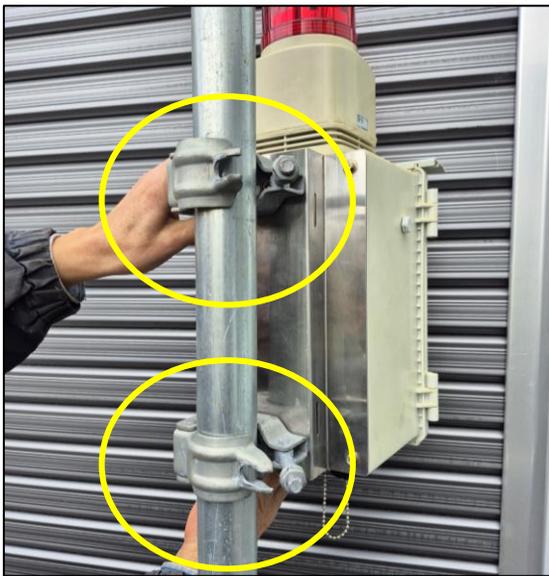
直射日光を防ぎ、電光掲示板文字盤の視認性をあげます。

※単管・電源(AC100V/1口)はお客様でのご準備をお願いいたします。  
 ※上記機器をスムーズに設置できるように、事前に単管で設置場所のご準備をお願いします。

## 1. 以下の部品・道具等が揃っているかご確認ください。



## 2. 赤色回転灯を単管へ取り付けます。

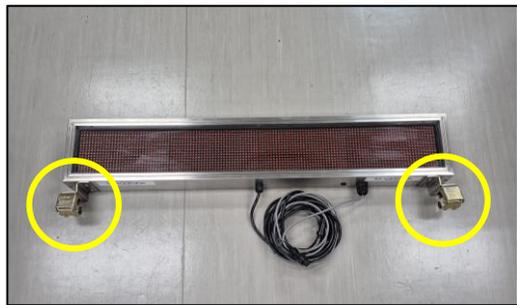


赤色回転灯の背面にクランプが2つあります。  
それぞれ単管へとりつけて、しっかりと締め込み、固定してください。

※赤色回転灯と電光掲示板を接続するケーブルの長さは5mとなっております。電光掲示板取付予定位置から5m以内の位置にパトライトを取付けてください。

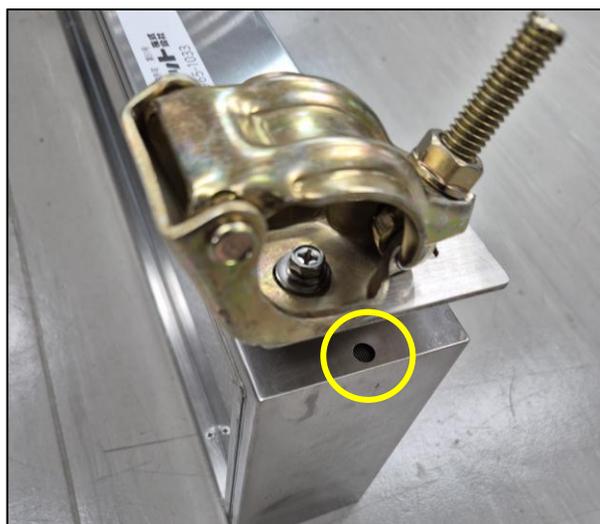


## 1. 電光掲示板を単管へ取り付けます。



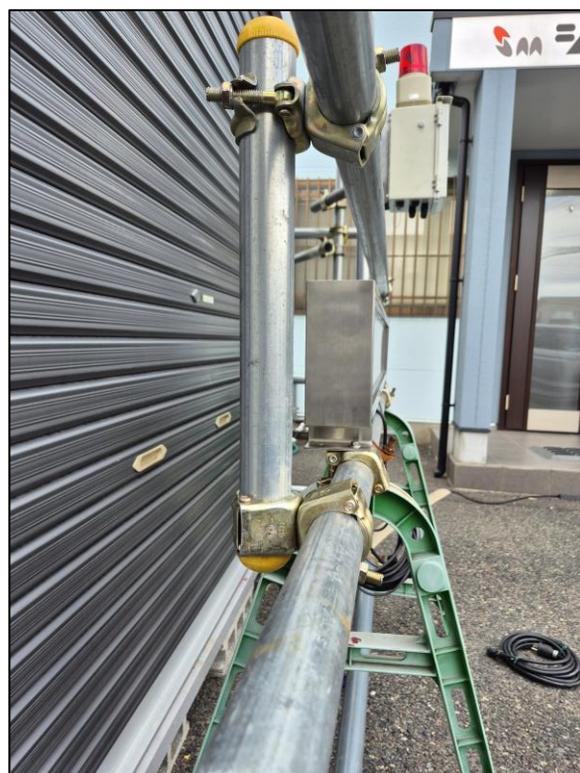
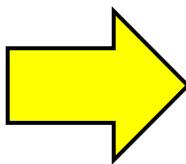
電光掲示板下部に**クランプ**が2つあるので、それぞれ単管へ取り付け、しっかりと締め込み、固定してください。

## 2. 電光掲示板の角度を確認します。

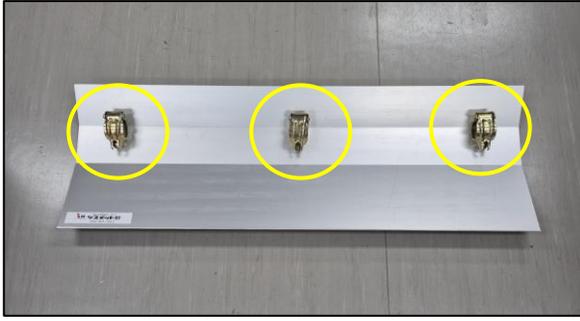


電光掲示板の設置環境によっては、寒暖差などの影響により、筐体内部にて結露が発生してしまいます。その水滴が溜まらないように、筐体左右の下部に**水抜き用の穴**が設けてあります。

この水抜き穴は中央部に位置しているため、電光掲示板を前後に傾けた状態で取り付けると、筐体内部に水が溜まり、文字盤の結露や機器故障の原因となる恐れがあります。そのため、単管に対してできるだけ垂直に取り付けてください。



## 1. 電光掲示板用底を単管へ取り付けます。



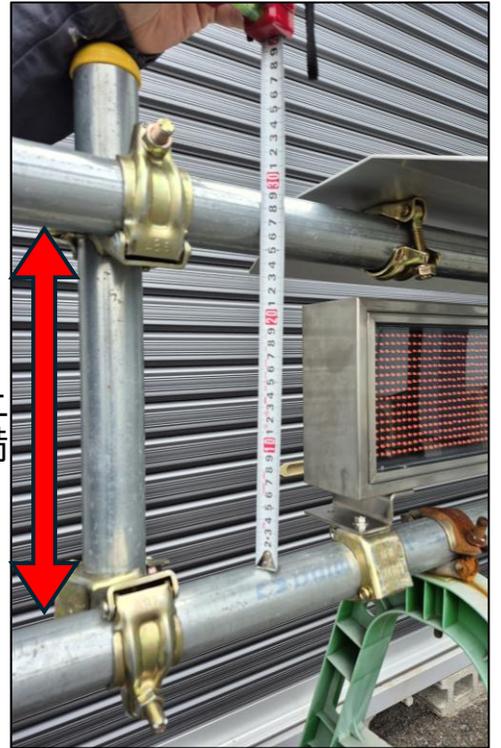
底の裏面には**クランプが3つ**取り付けられています。電光掲示板の上に通した横軸の単管へ、クランプを取り付けてしっかりと締め込みます。



1200mm以上

電光掲示板と底を取り付けるための単管のスペースは、横幅1200mm以上・高さ250mm以上～300mm未満でご準備ください。

250mm以上  
300mm未満



## 2. 底の角度を調整します。



この隙間を最大限無くすように調整してください。



電光掲示板の表示画面が見えるように底の角度を調整してください。底の効果を最大限活用するため、普段画面を視認する位置から、なるべく表示画面が見えるギリギリの高さまで下げてください。

1. 各差し込みコネクタの確認と主電源ケーブルの準備をします。



主電源ケーブル

赤色回転灯底部

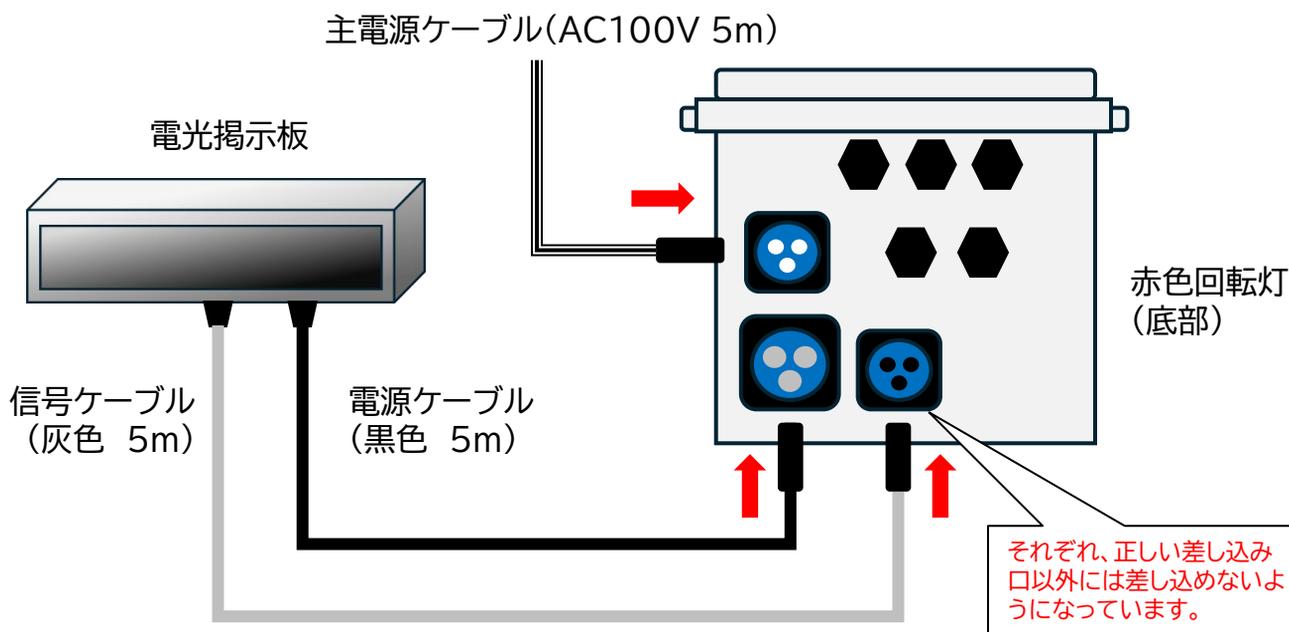
主電源ケーブル  
差し込みコネクタ

電源ケーブル(黒色)  
差し込みコネクタ

電源ケーブル(黒色)  
差し込みコネクタ

※差し込みコネクタの蓋が閉まっている場合は、開けてください。

2. ケーブルをそれぞれパトライト底部に差し込みます。



奥まで差し込んだ後に(コネクタの凹凸を合わせて)コネクタカバーを矢印の方向へ締め込み抜けを確認してください。



### 3. 接続完了です。

主電源ケーブルのプラグを、ご準備いただいた電源(100V)へ接続します。各ケーブルは劣化や断線を防止する為、結束バンドなどを利用して、単管へ固定してください。



ケーブル長が余った場合はこのようにまとめてください。

※電源ケーブルと信号ケーブルは別々でまとめてください。

※ケーブルの締め付けすぎにご注意ください。

### 4. 電源を入れ、ランプの点灯を確認してください。



赤色回転灯前面にあるスイッチをONにしてください。電源がONになると一番上のランプがオレンジ色に点灯し、上から2番目のランプが青色に点滅します。電光掲示板に「ZEROSAIシスメット」の表示が流れ始めます。青色のランプが点滅から点灯に切り替われば通信確立です。(通常は2分ほどで通信確立します)

※通常稼働の状態はオレンジ色、青色ランプが点灯しております。  
 ※オレンジ色のランプが点灯しない場合は、電源を再度ご確認ください。  
 ※青色のランプが点滅から点灯に切り替わらない、赤色のランプが点灯したままなどの異常がございましたら弊社までご連絡ください。

ランプの状態	機器の状態
オレンジ色	電源ON
青色(点滅)	通信準備中 ※電源ONと同時に点滅します。
青色(点灯)	通信確立 ※準備から確立まで約1分かかります。
赤色(点灯)	状態異常 ※通信ケーブルの接続状態をご確認ください。

